

## 第1回 新八代駅周辺大規模集客施設等整備基本計画有識者会議 議事録

日時：令和6年12月13日(金)15時00分～ 場所：八代市役所 本庁舎3階 庁議室 委員：柿本委員、加来委員、熊本委員、田嶋委員、塚崎委員、永野委員、 三浦委員、宮尾委員 ※鄭委員は欠席
---

### ○開会

#### 【事務局】

定刻となりましたので、ただいまから第1回新八代駅周辺大規模集客施設等整備基本計画有識者会議を開会いたします。

本日の進行を務めます、企画政策課の松下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。

まずは会議の開会にあたりまして、中村市長よりご挨拶申し上げます。

### ○市長挨拶

#### 【中村市長】

皆さんこんにちは。

本日は師走の大変お忙しい中に、第1回新八代駅周辺大規模集客施設等整備基本計画の有識者会議ということで、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。そしてまた、この後委嘱状を交付させていただきますけども、快くお受けいただけましたこと、重ねて御礼を申し上げたいと思います。

ご承知の通り、熊本県を取り巻く状況と致しましては、TSMCの進出を契機としまして、自治体間の南北格差がますます広がっていると言われております。

また、本市におきましても、人口減少や少子高齢化に歯止めをかけるため、にぎわいや雇用の創出を図ることが喫緊の課題となっているところでございます。そのような中、「八代の振興なくして、県南の浮揚なし」との強い思いで、本市だけではなく、県南地域全体の発展につなげるため、新八代駅周辺整備や新たな工業団地の整備など、県南の拠点としてふさわしいまちづくりに全庁一丸となって取り組んでいるところでございます。

今回、皆様に議論していただく新八代駅周辺に整備予定の大規模集客施設につきましては、本市の陸の玄関口である新八代駅の交通の要衝としての強みを最大限に生かして、新たな人流や物流を生み出す交流拠点として位置付けております。

今年度から2か年かけまして、基本計画を策定することとしており、この新八代駅周辺整備が起爆剤となり、本市に多くの人々が訪れ、中心市街地や周辺自治体などへの人の流れを生み出すことで、にぎわいの創出だけではなく、本市の未来を担う若者や子供たちに夢を与えるまちになることを目指しているところでもございます。そのようなことから、本日お集まりの委員の皆様には、この大規模集客施設整備についてスポーツ・文化の拠点としての視点だけではなくて、まちづくり

や地方創生、さらには防災といった観点からも幅広く議論を行っていただきたいと思っております。

最後になりますけども、皆様からの豊富な知見に基づくご意見につきまして、今後、基本計画を策定していく上で最大限反映させてまいりますので、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委嘱状交付 省略

○各委員自己紹介

【事務局】

次に、本日は第1回目の会議ということで、自己紹介をお願いしたいと思えます。それでは、名簿の順番に基づきまして、柿本様から自己紹介をお願いいたします。

【柿本委員】

皆さんこんにちは。熊本大学の柿本と申します。

くまもと水循環・減災研究教育センターにおりまして、専門は土木の計画です。出身地は生まれも育ちも八代です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして加来様お願いいたします。

【加来委員】

はい、どうも初めまして GAKUON ユニティ・フェイス代表の加来聖子と申します。

弊社は、今年で 50 周年を迎え、九州では一番歴史のあるプロモーター会社で、私は社長歴 22 年の二代目になります。

A-nation(エイ・ネーション:ライブイベント)を持ってきたり、地元の延岡では、初のガールズコレクションの野外フェスを企画しております。全国のプロモーターが集まる ACPC の中で、唯一の女性理事を 15 年ほど務めており、思ったことをすぐに行動に移します。

宮崎が本社で、宮崎から全国展開をしているんですけども、アドバイザーを務めておりました SAGA アリーナに関しては、反対意見もありましたが、ユーミンさんや B'z さんを入れて、今や非常に評判が高いアリーナになってきました。

母が熊本出身ということもありまして、何かできることを皆さんと一緒に考えて、エンターテイメントのまちにできたらいいなと思って参加させていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして熊本様お願いいたします。

**【熊本委員】**

はい。ANA の熊本でございます。よろしくお願いいたします。

私は名前が熊本なんですけど、出身は兵庫でして、この春から熊本支店の方に着任をしております。

弊社グループは、ご存じのとおり航空運送事業を主体にやっておりますけれども、コロナ禍の際に地域創生事業の方も進めさせていただいております。八代市様とは地域連携協定という形で色々な関わりをさせていただいております。どういう形でお役に立てるかわかりませんが、微力ながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして田嶋様よろしくお願いいたします。

**【田嶋委員】**

熊本県信用保証協会の田嶋と申します。金融代表ということで参加させていただいております。

7月まで県庁の方におりまして、スポーツ施設の整備も担当しておりました。八代は県南、あるいは南九州の拠点として施設も非常に十分にあり、今回のスポーツ施設が整備されれば、拠点性を活かして本当に県南の雄、そして熊本県の発展につながると期待しております。

この 2 年間で方向性がしっかりと導き出されて、みんなで方向を共有できればと思います。私は生まれが氷川町ですので、しっかり頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして塚崎様よろしくお願いいたします。

**【塚崎委員】**

肥後銀行の塚崎でございます。

私は八代ブロック長と八代支店長という業務をしております。水俣・市北も含めて担当しているということでございます。日頃はそこの八代支店にすぐ近くの地元におります。

今回の新八代の周辺整備基本計画に少しでもお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして永野様よろしくお願いいたします。

**【永野委員】**

九州ルーテル学院大学の永野と申します。普段は小学校教員養成、中高英語、そして、幼稚園教諭、保育士の養成をしております。

私の実際の専門はスポーツとありますけど、主にパラスポーツで、今日も中座させていただいて、パラスポーツの全国研修があるので行かせていただきますけど、そういう形で、色々なスポーツ・福祉という観点から、ご助言ができればいいなと考えております。地元八代出身です。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして三浦様お願いいたします。

**【三浦委員】**

はい、皆様、こんにちは。JR 九州熊本支社で支社長しています、三浦でございます。

4月から熊本支社長ということで拜命を受けまして8ヶ月と、初の熊本ライフを楽しんでいるところでございます。出身は大分でございます。

30年強のJR人生の中で、半分ぐらいは営業畑、半分は総務人事畑ということで、そのバランスの中でJR人生歩んでいるところでございます。

JR九州はご案内の通り、鉄道事業が中心ではございますが、4,000億円強のグループ連結の収入の中で7割ぐらいは実は鉄道以外で稼いでおりまして、いろいろな経験や勉強をさせていただいておりますので、微力ではございますが、新八代周辺のために何か自分の知見が活かさればなと思っております。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

最後に宮尾様よろしくお願いいたします。

**【宮尾委員】**

熊本県立劇場理事長の宮尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私は文化ということで、関与させて参画させていただきたいと思っておりますが、やはり先程来、市長からもお話しありましたとおり、経済格差とともに文化の格差というのが、今、非常に懸念されておりました、やはり特に県南地域の災害等もございましたけれども、大きい館があるという場所がほとんどない状況でございます。もちろん、スポーツも含めて文化と考えておりますけれども、今回の八代市の計画には大変期待しております。

やはり八代が頑張ってもらわないと県南の進歩はないと思っておりますし、今回、少しでもお手伝いできればと思っております。私もこちらの出身ですので、大変期待もしておりますし、気にもなっております。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

皆様、ありがとうございました。

なお、市長におかれましては、別件公務が入っております関係で、ここで退席となります。ご了承いただきますようお願いいたします。

## ○委員長選出

### 【事務局】

続きまして、議事に入ります前に、本会議の委員長の選任を行います。

資料2の有識者会議要領第4条に、有識者会議に委員長を置き、委員の互選によりこれを定めるとありますことから、皆様方からご意見を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

### 【事務局】

それでは、ご意見がないようでございますので、事務局案の方を準備しておりますので、ご提案を申し上げたいと思います。事務局案といたしまして、熊本大学の柿本先生に委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

### 【各委員】

(拍手)

### 【事務局】

はい、ただいま事務局案ございましたけども、皆様、拍手をもってご承認いただいたということで進めさせていただきます。

それでは柿本先生、委員長席の方へご移動をお願いいたします。

柿本委員長に就任に際しまして一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

### 【柿本委員長】

改めまして皆さん、こんにちは。

先ほども言いましたが、新八代駅のすぐそばのところの出身で、市長のご挨拶の中で八代の起爆剤、結構重たい仕事だなと思います。

皆さまご承知のとおり、新八代駅ができたけど、なかなか開発が進んでいない状況で、今回、アリーナを中心に開発していこうということですけど、ハコを作っただけではなかなか起爆剤にならない、周辺の開発も含めて、また、中のコンテンツも含めて検討していかないといけないと思いますので、みなさんのお知恵をお借りしながらこの会を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### 【事務局】

柿本委員長ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきます。本日は委員9名中8名の方にご出席いただいております、定足数である過半数に達しておりますので、本会議が成立していることをご報告いたします。議事進行につきましては、要領第5条の規定により委員長が務めることとなっております。柿本委員長よろしくお願いいたします。

## ○「新八代駅周辺整備及び大規模集客施設等整備に係る経緯」

### 【柿本委員長】

はい、それでは、これ以降の進行につきまして、私の方で務めさせていただきます。

次第の方をご覧ください。本日のスケジュールにつきましては、4件予定されておりますけれども、先ほど資料の説明がございました。多くございますので、1件1件説明いただきながら、進めていきたいと思っております。

まずはじめに、議事(1)「新八代駅周辺整備及び大規模集客施設等整備に係る経緯」について、ご説明をお願いいたします。

### 【事務局】

はい、企画政策課の下崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

それでは、議事(1)「新八代駅周辺整備及び大規模集客施設等整備に係る経緯」について説明いたします。手元に配布しております。資料の3と書かれた資料をお願いいたします。

1ページをお願いいたします。

委員の皆様のご多くは、八代市外にお住まい、あるいは勤務されているかと思っておりますので、八代市について、少しご紹介させていただきます。八代市は、熊本市の南、約40kmに位置し、東は宮崎県、西は八代海に接し、面積の約70%が山間地となっております。平成17年8月に、1市2町3村が合併し、総面積は約681km<sup>2</sup>、人口は約12万人と、いずれも県内第2位の面積と人口を有する市でございます。豊かな自然に恵まれ、球磨川や氷川の豊富で良質な水資源にも恵まれており、生産量日本一のい草やトマトをはじめ、しょうがやお茶、露地野菜など、全国有数の農業生産地となっております。

また、近代以降は、現在の日本製紙やメルシャンが立地するなど、製紙や酒造をはじめ、臨海工業用地の造成、港湾施設の整備充実が図られてきたことによる、港湾利用型企業の進出など、県内有数の工業都市としても発展してまいりました。

2ページをお願いします。

次に、大規模集客施設の整備を予定しております新八代駅までの交通アクセスについてですが、八代市は、九州のほぼ中心に位置しておりまして、交通アクセスの面でも、非常に高いポテンシャルを有していると考えております。九州新幹線沿線の福岡市や鹿児島市はもとより、宮崎市との間にも直通の高速バスが走っているなど、九州管内からのアクセスも良好でございます。また、昨年、宮崎県知事が、有力な選択肢の一つとして、九州新幹線「新八代駅－宮崎ルート」を表明され、今月はじめに整備費などの調査結果が公表されたところでございます。

何よりも、熊本市から新幹線で約10分、在来線や車での移動でも30分程度の場所にありますので、本市といたしましては、大規模集客施設の整備にあたり、このアクセスの良さという部分が一番の強みであると考えております。

3ページをお願いします。

ここからは、新幹線開通に伴い、本市がこれまで取り組んできました、「新八代駅周辺整備」について、説明させていただきます。新八代駅の開業に伴いまして、これまで、原則農地転用が許可されない第1種農地に区分されていた周辺の農地が、原則農地転用が許可される第3種農地に変更されましたことから、本市では乱開発を防ぐため、特に農地が多く残っている新駅東口周辺の、約 20haを先行整備区域に設定し、計画的な整備を行っていくこととして、平成 12 年 3 月に、土地開発公社に対して事業の取組を依頼いたしました。写真で見ますと、黄色の点線で囲まれたところが、先行整備区域として設定された 20ha の区域でございます。当時は、土地開発公社での直接買収による造成事業として、取り組む予定としておりましたが、事業の採算性や的確性の観点から、事業の実施が困難であると判断し、平成 15 年 2 月に、土地開発公社による面整備を断念することになりました。

4ページをお願いします。

土地開発公社による整備を断念することになったため、本市では、まちづくり交付金を活用して、新八代駅周辺の基盤整備を進めることとし、平成 17 年 3 月に、都市再生整備計画を策定し、周辺の道路や都市公園等の整備を実施しました。

一方で、駅から半径約 300m以内の区域が第3種農地になったことで、農地を容易に開発できることになり、周辺の住環境を悪化させる乱開発のおそれが出てきたことから、新八代駅を中心とした約 95ha の区域を、建築に一定の制限を行う「特定用途制限地域」に指定し、豊かな田園地帯と調和が保たれた、まちづくりを進めていくこととしました。

現状としましては、JR鹿児島本線(地図では南西から北に延びる線路)を境に、新八代駅東側については、ホテルやマンションなどの開発、反対の西側については、学校や住宅の建設など、民間による開発が進んでおります。

一方で、交通結節機能を活かした大規模な集客施設など、拠点機能を有した施設の立地はみられず、虫食いの開開発が進んでいる状況にあります。

5ページをお願いします。

このような中、半導体受託製造最大手である、TSMCの熊本進出を契機として、関連企業等の進出や、市町村間の企業誘致競争が激化するなど、本市を取り巻く社会経済情勢は急速に変化しております。本市でもTSMCの進出は大きなチャンスと捉えており、本市の地理的優位性やポテンシャルを活かし、①新八代駅周辺の整備、②新たな工業団地の整備を加速化させるため、昨年 1 月に市長を本部長とする「新八代駅周辺及び企業誘致用地整備推進本部」を設置しました。本市の中村市長の想いでもあります、「八代の振興なくして、県南の浮揚なし」という気概のもと、本市のみならず、県南地域全体の発展につなげるため、「県南の雄都」としてふさわしいまちづくりを、全庁一丸となって進めているところでございます。

6ページをお願いいたします。

新八代駅周辺の整備に関しましては、今後のまちづくりを進めるための全体構想として、本年3月に「新八代駅周辺グランドデザイン」を策定いたしました。このグランドデザインでは、本市の現状や課題を踏まえつつ、新八代駅周辺における土地利用の考え方を整理し、周辺全体のゾーニングプランを示しております。

7ページをお願いいたします。

こちらが、ランドデザインにおける目指すべき将来像と基本目標であります。目指すべき将来像としまして、「未来を切り拓き活躍する新世代が飛翔する交流・創造の拠点」と設定し、スマートシティの実現に向けた取組を下支えとしながら、新八代駅周辺が、「にぎわい・楽しみ」、そして「交流・創造」の拠点となるよう、様々な取組を推進していくこととしております。

8ページをお願いいたします。

こちらが、新八代駅周辺のゾーニングプランとなっております。新八代駅の北東側(※緑色のエリア)を、にぎわい創出の核となるアリーナを中心とした大規模集客施設等の整備エリアとし、それ以外の部分につきましても、現状や将来構想等を踏まえながら、エリア分けを行っております。

9ページをお願いいたします。

本有識者会議の目的でもあります、「新八代駅周辺大規模集客施設等整備基本計画」の内容を簡単にご説明いたします。新八代駅周辺整備の核として位置付けております大規模集客施設につきましては、これまで本市の既存施設では実現が難しかった最高峰のプロスポーツや大規模コンサートといった多彩なイベントの開催を可能とし、民間主導または官民連携事業による整備・運営を想定しております。

この大規模集客施設を具現化するために必要な導入機能や規模、概算事業費等を検討するために、今年度から2か年かけて基本計画を策定することとしております。

また、エリア内に整備・誘致を予定している、アーバンスポーツ及び農業体験学習拠点の配置や動線等についても、本計画の中で検討していくこととしております。

大規模集客施設内の計画対象施設は、スポーツ機能、コンベンション機能をもち、5,000人以上の規模を前提とするメインアリーナ、ホール機能・スポーツ機能をもつ多目的ホール、武道に関するスポーツ機能をもつ武道場でございます。

10ページをお願いいたします。

今後の主なスケジュールにつきまして、ご説明いたします。まず、一段目「市場調査及び収支シミュレーション」に関しましては、建設や不動産、スポーツ・音楽興行等の企業に対し、参画意欲や求められる施設規模などを聞き取るヒアリング調査を現在実施しているところです。調査結果をもとに、維持管理・運営に係る簡易的な収支シミュレーションを今年度中に実施し、整備方針や規模・機能等を決定する際の基礎資料といたします。

今後は、整備方針や規模・機能等が決定した段階で、整備費も含めた詳細な収支シミュレーションを実施し、計画への反映を行ってまいりたいと考えております。

次に、二段目の、有識者会議につきましては、後ほど詳しくご説明します。市民アンケートにつきましては、無作為抽出した18歳以上の市民3,000人を対象として実施しており、現在、集計・分析中でございます。

関係団体へのヒアリングにつきましては、施設のコンセプトや整備方針等がある程度固まった段階と、規模や導入機能等がある程度固まった段階、それぞれ

のタイミングで、スポーツや文化、経済分野といった関係団体の皆様へのヒアリングを実施する予定としております。

次に、三段目に関しましては、コンセプトや整備方針など、本基本計画の根幹となる部分でありますので、市場調査や市民・関係団体の皆様などのご意見をしっかりと踏まえつつ、事業の実現性等を検討する四段目の民間活力導入可能性調査につなげてまいります。

最後になりますが、計画案を来年の年内に作成したのち、パブリックコメントを実施し、ご意見等を反映したうえで、最終的な計画策定を行うこととしております。議事(1)に関する説明は以上となります。

#### 【柿本委員】

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局からご説明がございました新八代駅周辺整備及び大規模集客施設等整備に係る経緯について、委員の皆さんから何かご意見・ご質問はございますでしょうか。

1点だけ私の方から確認で、8ページに事業のゾーニング・プランが掲載されているのですが、この辺のゾーニング・プランというのは、この委員会の中で検討しながら変わっていくということはあるのか、それともこのゾーニング・プランは固定で、これをベースに議論していくことになるのか、どのような形でしょうか。

#### 【事務局】

はい、ありがとうございます。

このゾーニングプランに関しましては、あくまでこのグランドデザインで公表しているものでございまして、大規模集客施設を検討する中で、これにとらわれる必要はないと思います。あくまでベースというふうにお考えいただければと思います。委員長のご発言でもあった通り、1つのコンテンツだけではなく、いろんなものの要素も組み合わせながらご意見等をいただければと思います。

#### 【柿本委員】

ちょっと気になったのは、動線まで含めてここで検討してほしいという話だったんですけど、大規模集客エリアが鹿児島本線の東西に分かれて、動線確保しにくいんですよね。どういうふうに考えられているのですか。もう基盤整備されているんですか。

#### 【事務局】

はい。委員長からございました大規模収容施設エリアの三日月の部分と長方形の部分でございますが、大規模集客施設の整備予定エリアとしましては、長方形の部分ということで考えておまして、三日月の部分との動線については、整備する施設の「等」の部分、大規模集客施設以外の部分での施設関係の整備の内容によって、詳細に検討していく、もしくはご意見をいただくということもあろうかと思っております。あくまで大規模集客施設につきましては、この長方形のエリアで考えているとご理解をいただければと思います。

【柿本委員長】

はい。

他になにかご質問ございますか。

よろしいですか。では、区画については議論したらちょっと修正はかかるかもしれないですけど、基本的にはこのゾーニングをベースにして話を進めていくことをお願いいたします。

ご質問がないようでしたら、次の議事に入らせていただきます。

次は(2)「有識者会議の概要及び進め方」について、事務局からご説明をお願いいたします。

○「有識者会議の概要及び進め方の説明」

【事務局】

それでは議事の(2)「有識者会議の概要及び進め方」について説明いたします。お手元に配布しております、資料の4と記載された資料をお願いいたします。

1ページをお願いいたします。

本日が第1回目となります有識者会議につきましては、ランドデザインにおいて、新八代駅周辺のにぎわいや魅力などが創出される核となる施設として位置付けております官民連携事業による整備・運営を念頭に置いた大規模集客施設を具現化するために、施設の基本コンセプト、市場調査によるニーズ、規模、機能等を具体的に整理し、有識者の皆様から専門的・大局的な意見を聴取することを目的としております。

下段の今後の進め方につきましては、今年度2回、来年度3回の計5回の開催を予定しております。

今回は、市場調査や市民アンケート等の結果を踏まえて、施設の基本コンセプトについてご意見をいただきたいと考えております。

来年度につきましては、施設の規模や概算事業費等を踏まえ、大規模集客施設の実現に向けた事業手法の検討やPFI等の民間活力導入可能性調査結果等についてご意見をいただきながら、素案を作成する予定としております。その後、パブリックコメントを実施し、基本計画を策定することとしております。

2ページをお願いいたします。

こちらは参考資料として掲載しておりますが、老朽化等の課題を抱える県内のスポーツ施設の整備の方向性を検討することを目的として、熊本県が設置されている「公民連携によるスポーツ施設整備に関する検討会議」の第2回会議が11月25日に開催されました。検討の対象となる施設は、藤崎台県営野球場、熊本武道館、熊本県立総合体育館、県民総合運動公園陸上競技場の4施設であり、令和7年度末までに整備の方向性を取りまとめることとされております。

この第2回の会議では、アリーナの構想を持つ本市及び桜十字グループのほか、野球場誘致の構想をお持ちの菊陽町が、それぞれの検討状況などについて説明し、委員からのヒアリングが行われたところでございます。意見交換の際には、資料下段に記載しておりますような好意的なご意見もいただいております。

議事(2)に関する説明は以上となります。

【柿本委員】

ありがとうございました。有識者会議の概要及び進め方の説明について何かございませんか。

これも確認ですが、先ほどの資料の9ページ「新八代周辺大規模集客施設等整備基本計画について」のところで、下の方に対象施設として既にこういうことを想定してますっていうご説明がありますけれども、メインアリーナだと 5,000 人以上や多目的ホールや武道場があって、進め方の中で、収益性とシュミレーションしながら検討していくというお話だったんですけど、前提としては 5,000 人規模が最低というところから始まるかどうかというところを確認したい。維持管理が大変だとか、そこで話が変わっていくと思います。5,000 人は確保したい。それともそれ以下でも考えるのか。いかがですか。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

メインアリーナの規模につきましては、委員長からございました通り、基礎としては 5,000 人以上ということで本市としては考えております。そちらをベースにご検討、ご意見をいただければというふうに考えております。

【柿本委員長】

わかりました。みなさん、何かご質問ありませんか。

先ほどの資料の中で説明があった、こういったことをベースに、検討していくということでよろしく願いいたします。

【加来委員】

よろしいですか。5,000 人以上っておっしゃったのは、5000 人以下だと興行が成り立たず、なかなかコンサートが難しいという意味合いもあるのかなと思うんですけど、SAGAアリーナは、当初 5,000 人ぐらいの規模だったんですけど、コンサート等の需要を検討された結果 6,500 規模のアリーナを整備され、いろんなミュージシャンを連れてこられるようになっております。

長崎のアリーナはちょっと小さくて、なかなかコンサート持ってこれないんですけども、ツアーものではなくて、施設に合うイベントができるようなシステムを作っている。だから、いろんなアリーナの考え方を検討して、どういうふうなものをやりたいのか、やっていくのかっていうのを考えて、色々大きさを考えればいいのではないかなと思います。

【柿本委員長】

はい、ありがとうございました。

規模で気に合ったのは、あの辺の道路事情はそこまで良くない。どうやって捌くか、今後その辺をここで検討していくんですかね。どういう風に人を運んでいくんだとか。

### 【事務局】

はい。現在も着手している道路の整備だったり、動線の部分も検討、ご意見等もいただければと思っております。

先ほども申しましたように、すでに着手して東西に開通する道路もございますので、そういったものも踏まえて、これで本当にまだ十分なのか、また、もっと整備が必要なのか、そういったご意見もいただければと思っております。

### 【柿本委員長】

ほかに何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、議事(3)「大規模集客施設等整備に係る現状の整理」について、ご説明をお願いいたします。

### ○「大規模集客施設等整備に係る現状の整理」

#### 【事務局】

はい、議事の(3)「大規模集客施設等整備に係る現状の整理」につきまして、まずは対象地の現況を説明させていただきます。お手元に配布しております、資料の5の1と記載された資料をお願いいたします。

説明に入ります前に、大規模集客施設の予定地につきまして、2分程度の紹介動画を作成しましたので、モニターの方をご覧くださいと思います。

～動画鑑賞～

今画面に映っておりますのが新八代駅でございます。画面手前に新八代駅が見えておりまして、画面の奥の方が、整備予定地となっております。今度は反対に整備予定地から新八代駅に向かっての動画をご覧くださいと思います。画面手前が整備予定地となっております。後ほど赤い枠が出てまいりますので、ご確認いただければと思います。

ご覧いただいたように、大規模集客施設の建設予定地は、新八代駅から約400～500m、歩いてわずか5分で到着する場所にあり、全国有数の駅から近いアリーナを目指しております。

本構想が実現し、大規模集客施設においてイベントが開催される際には、JR九州に協力をお願いし、臨時列車を運行していただくなど、「駅近」というメリットを最大限活かしてまいりたいと考えております。

2ページをお願いいたします。

①では、土地利用における都市計画関連について、整理しております。計画地においては、現在、都市計画法に基づく用途地域は指定されておらず「無指定地域」となります。この無指定地区では、今回計画しております施設に関しまして、建築基準法上、客席面積が10,000㎡を超える建築ができず、10,000㎡を超える場合は、新たに、用途地域の指定、または、地区計画における開発整備促進区を定める必要があります。

左下の図の赤線で示しておりますが、計画地の一部は特定用途制限地域に指定しており、建築に関して一定の制限を行っております。

次に②農業振興地域につきましては、右下の図をご覧ください。

計画地とその周辺は農業振興地域内の農用地区域に指定されており、農地転用や開発行為等が制限されており、整備に向けては農用地区域の除外を行う必要があります。

また、都市計画法に基づく用途地域の指定を行う場合は、農業振興地域からの除外も必要となります。

3ページをお願いいたします。

こちらでは、景観と埋蔵文化財について整理しております。景観についてですが、計画地とその周辺は、八代市景観計画の中で、特定の建築物等において届け出が必要な地区となっており、整備に向けて景観形成基準に適合するための検討を行ってまいります。

埋蔵文化財につきましては、計画地が「埋蔵文化財包蔵地」に隣接しているため、試掘調査が必要となり、その結果、包蔵地が確認された場合は、本調査が必要となります。

4ページをお願いいたします。

こちらでは、災害リスクについて整理しております。まず、①土砂災害②津波につきましては、防災マップ上ではそれぞれの区域に含まれておらず、災害リスクは低いと考えられます。③地震につきましては、注釈の災害想定ですと、震度 6 強、液状化危険区域となっております。建物の全壊率は計画地の一部で 20%以上 30%未満となっております。④水害につきましては、注釈の災害想定ですと、洪水の浸水ランクは 0.5m~10.0m未満、高潮の浸水ランクは 3.0m~5.0m未満となっております。

次に、施設関連について説明いたしますので、資料の5の2と記載された資料をお願いいたします。

1 ページをお願いします。

基本計画の対象施設としての機能をもつ、本市のスポーツ、文化施設をまとめております。左から、スポーツ施設として、八代トヨオカ地建アリーナ、八代市立武道館、鏡武道館、文化施設につきましては、桜十字ホールやつしろ(やつしろハーモニーホール)、鏡文化センター、八代市公民館を掲載しております。施設規模に関しまして、トヨオカ地建アリーナについては、大アリーナの客席数は 1200 席、文化施設については、500 席~600 席程度のホールをもつ施設が 3 件ございます。

その他の情報については、ご覧のとおりでございますが、八代市立武道館につきましては、建設から50年以上が経過し、老朽化が進んでいることに加え、駐車場が狭いという課題もありますことから、競技団体の皆様からは、以前より、別の場所での建て替えについて、ご要望があつているという現状を補足させていただきます。

2 ページをお願いいたします。

県内のスポーツ施設についてご説明いたします。基本計画の対象施設でありますメインアリーナのスポーツ機能、多目的ホールのスポーツ機能を有し、客席数が 1000 席以上で、バスケットボール、バレーボール、ハンドボールなどの、スポーツ興行が行われている施設を掲載しております。左から、熊本県立総合体育館、益城町総合体育館、ナースパワーアリーナ(熊本市総合体育館)、ウイング松橋(宇城市松橋総合体育文化センター)、山鹿市総合体育館を掲載しております。いずれもメ

インアリーナ、サブアリーナ、会議室などの機能を有している施設となり、メインアリーナの客席数としては、大きいところで 3000 席程度となっております。詳細については、ご覧のとおりでございます。

3 ページをお願いいたします。

基本計画の対象施設であります多目的ホールのホール機能を有する、県内の文化ホールを掲載しております。客席数が 1000 席以上のホールとして、左から、熊本県立劇場、熊本市市民会館シアーズホール夢ホール、熊本城ホール、人吉市カルチャーパレス、荒尾総合文化センターを掲載しており、詳細については、ご覧のとおりです。

なお、ホール数は、県内では約 40 箇所、本市には 3 箇所ございます。

4 ページをお願いいたします。

基本計画の対象施設であります武道場のスポーツ機能、を有する、県内の武道場を掲載しております。左から、熊本武道館、水俣市立武道館、玉名市武道館、宇土市武道館、合志市武道館を掲載しており、詳細については、ご覧のとおりです。

なお、武道場全体としましては、県内では約 40 箇所、本市内には 2 箇所の武道場がございます。

5 ページをお願いいたします。

基本計画の対象施設でありますメインアリーナのスポーツ機能、多目的ホールのスポーツ機能を有する、九州内のアリーナを掲載しております。いずれもバスケットボールの B リーグのホームアリーナとなっており、主な機能としてメインアリーナ、サブアリーナなどがございまして、メインアリーナの客席数も、本市が前提としている、5000 席以上となっております。

次のページから、各施設の事業手法や特徴を簡単にご説明いたします。

6 ページをお願いいたします。福岡県の照葉積水アリーナをご紹介します。

上段左側に施設の概要、右側に事業主体やスキームなどの情報、下段は、施設の特徴を記載しております。まずは、上段右側をご覧ください。

事業主体は福岡市で、事業手法は、整備・運営を一括発注し、民間事業者の資金、能力を活用することができる、民設民営の PFI 事業となり、これにより、事業者選定時の評価では、財源の 8%削減が見込まれております。施設の特徴としましては、下段に記載しておりますが、メインアリーナをはじめ、サブアリーナや武道場などを備えた施設となっており、男子バスケットのプロリーグである B リーグや女子バスケットのトップリーグである W リーグなど、各種スポーツ大会などが行われております。

7 ページをお願いいたします。

佐賀県の佐賀アリーナです。事業主体は佐賀県で、事業手法は公設民営となり、佐賀県による整備、指定管理者制度における民間事業者による維持管理運営となっております。B1 リーグ公式戦のほか、音楽コンサートや学会なども開催され、2023 年 5 月に開業し、来場者数は、半年間で約 26 万人となっております。

8 ページをお願いいたします。

長崎県のハピネスアリーナです。こちらの施設に関しましては、事業主体が自治体ではなく、民間企業でございます。用地の取得から、整備、運営までの全てが民間企業でありますジャパンネットホールディングスにより実施され、サッカースタジアム、アリーナをはじめ、ホテルや商業施設なども整備された、複合開発となっております。

9ページをお願いいたします。

鹿児島県の西原商会アリーナです。事業主体は鹿児島市で、事業手法は公設民営となり、鹿児島市による整備、指定管理者制度における民間事業者による維持管理運営となっております。メインアリーナをはじめ、サブアリーナや武道場などを備えた施設となっております。Bリーグやスポーツ大会などが行われておりますが、老朽化などの状況を踏まえ、既存施設の特徴を生かしながら、2026年シーズンから移行される新B1基準を満たす改修を計画されております。

10ページをお願いいたします。

沖縄県の沖縄アリーナです。事業主体は沖縄市、事業手法は公設民営となり、沖縄市による整備、指定管理者制度における民間事業者による維持管理運営となっております。2023年のバスケットボールワールドカップが開催され、Bリーグ公式戦や、音楽コンサートも行われており、最大で約10,000人の収容が可能となっている施設です。

11ページをお願いいたします。

基本計画の対象施設でありますメインアリーナのコンベンション機能を有する、九州内のコンベンションセンターを掲載しております。左から、熊本産業展示場(グランメッセ熊本)、福岡国際センター、マリンメッセ福岡A、マリンメッセ福岡B、福岡国際会議場を掲載しており、県内の主な施設は熊本産業展示場でございますが、九州で開催される多くのイベントは福岡市に集中している状況であります。

12ページをお願いいたします。

基本計画の対象施設であります多目的ホールのホール機能を有する、九州内の文化ホールを掲載しております。九州全体で約230箇所の文化ホールがあり、そのうち観客席1000人以上のホールは約60箇所、1500人以上のホールは22箇所となります。掲載している文化ホールは、メインとなるホールの観客席が1500人以上の施設で、熊本県内には3箇所ございます。

議事(3)に関する説明は以上となります。

#### 【柿本委員長】

はい、ありがとうございました。

ただいまご説明いただきました大規模集客施設等整備に係る現況の整理について、何か委員の方々ご質問ご意見ございませんでしょうか。

皆さんが考えられている間に私から2つだけちょっとお願いします。最初は、対象地の現況、(資料3の)6ページのところですかね。周辺に農業地域がたくさんありますよね。今後、市としては、ここは開発していきたいということはあるのですか。農業振興地域なんですけど、ここを起爆剤として発展させようと思ったら、ここも含めて将来的には開発していかないとなかなか難しい。この点はどういう風な考えなのでしょうか。

【事務局】

はい、まず大規模集客施設の建設予定地につきましては、当然、農振除外をする予定としております。ご質問のそれ以外の部分も当然、将来的なまちづくりということを考えた場合に農振除外というのも当然視野に入ってくると考えております。こちらの地図にはございませんが、2ページの右側の地図ですが、ちょうどここから2～3キロ北東側に県営工業団地が整備される予定となっております。そちらの工業団地の従業員の方の住まいの確保だったり、当然、将来的に課題となってくるかと思いますので、そういったものを含めて、工業団地、それからこの大規模集客施設を考えた場合に、この部分についても、農振除外、将来的には開発・まちづくりということも当然検討すべきものというふうに考えております。

【柿本委員長】

将来的には工業団地の整備に合わせて、一体的な開発整備を行っていくということですか。

【事務局】

はい、そういったものを当然考えていかなければいけないと考えております。

【柿本委員長】

先ほど、いろんなところの事業スキームについて、ご説明をいただいたのですが、八代市としてはどんな感じでやりたいということはあるですか。やっぱり民間に任せたい、それとも市の方として運営していくという考えですか。

【事務局】

はい、ありがとうございます。究極にはですね。当然企業誘致という形態、民設民営というのが一番理想ではございます。ただ、そういった選択肢があり得るのかということで、今、市場調査の方を行っておりますので、仮に叶わないということであれば、民間さんと協力していく、いわゆるPFIをまず第一段階としては使っていくという形で考えております。

まずは企業誘致、民設民営っていうのが一番理想ではございますが、そういったいろんな手法を幅広く今後検討して参りたいと考えております。

【田嶋委員】

よろしいでしょうか。

【柿本委員長】

はい、どうぞ。

【田嶋委員】

今のお話に関連するんですけど、今後、大規模集客施設の整備について、この会議で検討していくわけですけど、大規模集客施設の機能をどうするか。規模を

どうするかという話の中で、公設公営から民設民営まで手法はいろいろあり、先ほど民設民営が一番望ましいとおっしゃいましたけど、そもそもここにわざわざ民間が出てくるのかどうかも分からないのに、機能論をずっと議論するのか。

八代市の財政の対応力がどれくらいかちょっとわからないですけど、やはり機能はあればあるほどいいというのはみんな思います。例えば、スポーツアリーナがいい、コンサートもできるだけ人が入れるようなところがいい、皆さん誰も反対しないと思います。機能と規模と対応力、それをどうマッチさせながら、この議論を進めていくのか、ちょっとイメージがわからないんですけど。

#### 【事務局】

現在、市場調査というものを行っております。そういったものの結果が出ますと、どういった形、どういった規模感、そういったものもある程度見えてくると思います。そういったものをお示した上で、その案といったものをご提示をさせていただいて、委員の皆様には、さまざまなご意見いただきたいと思います。当然、財政的なものもございますので、市単独では当然難しい。国、もしくは県からのご支援もいただきながらということもありますので、そういった材料はすべてご提示をさせていただいて、委員の皆様からその規模感、機能、そういったものも、最終的には決めていくということで考えております。

まだ現段階ではちょっとお示しできるような材料がございませんので、おそらく次回検討会議の中で、ある程度の下準備といえますか、そういった材料は少しはお示しできるのかなと思っております。すみません、ちょっととお答えになっておりませんが。

#### 【福島副市長】

副市長の福島です。今、田嶋会長からご指摘いただいた点、まさに一番、我々としても悩ましいところで、八代市の財政規模は 700 億円でございます。そうした中で、これに今チャレンジしようとしております。したがって、望まれる機能・規模と我々の体力、その連立方程式みたいなものを解いていかななくてはと思っています。ぜひ、委員の皆様方をお願いしたいのは、やはりこの興行する上で、やっぱり最低これぐらいは必要だとか、規模的なもの、機能的なものについて、ご意見伺いたいと思います。その中で我々の先ほどの示した体力との調整で、ここまではできるというところをやって、編み出していきたいと思いますので、今の段階でいくらだったら出せます、いくら希望だったら作れますというのはまだお示しできない状態ですけども、そこは先ほど申し上げましたように、この会議を重ねる中で、より良い着地点につながっていければと思っておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

#### 【田嶋委員】

もうひとつ、現時点で民間でここに興味があるとか、食指を伸ばしているというのはあるんですか。

【事務局】

先ほど申しましたように、市場調査の最中をごさいます、まだ現時点で具体的に興味を民間さんで進出をしたいという風におっしゃっているところは、まだそのような話は聞いてはおりません。

【柿本委員長】

まだ詳細はこれからですかね。今の資料の中をざっと見たときに、資料の1とかを見ると 200 億は完全に超えますね。事業規模としては、どこか出してくれるかな。

【三浦委員】

よろしいでしょうか。

【柿本委員長】

はい、どうぞ。

【三浦委員】

関係団体へのヒアリングとか市場調査というところの、その関係の団体ってどこを指しているのか、市場調査ってどういう調査なのかっていうのをわかりかねていたなあと、説明を聞いてですね。ハコを作るにしても、興行するアーティストなり団体なりがどういうものを九州に望んでいるかとか、結局使う人がいなければ作っても一緒なので、そういう人たちの声とかをヒアリングするという意味でここにヒアリングするということでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。おっしゃる通り、市場調査の部分に関しましては、デベロッパーでありますとか、いわゆる興行主さんであるとか、スポーツ関係とか、いろんな業界の生の声を聞かせていただくように調査を今かけております。関係団体ヒアリングに関しましては地元の経済界ですとか、文化団体、スポーツ団体も含めて全ての関係・関連団体さんの方に、ある程度案ができた段階で、複数回ヒアリングを行いたいと考えております。

【三浦委員】

それを次回、またフィードバックしていただいて、八代だとかこういう機能が欲しい、今、こういうものが九州内には必要なんだというのが少し出てきたりするんではないでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。おっしゃる通り、次回の会議でそこまでの材料をお示しできればと考えております。

【柿本委員長】

市場調査されて大体これくらいの規模だとこれくらいの使用頻度になるだろうっていうところまで出てくるのですか。

【事務局】

そうですね。例えばエンタメの業界だとこのくらいのもものが望まれているとか、これくらいだったら使えるとか、そういったもののご意見をいただいて、お示しできるというふうに考えております。

【柿本委員長】

ほかなにかご質問ございませんか。また最後に皆さんにお聞きしましょう。

次の議題に入ります。(4)「先進事例の紹介」について、事務局より説明をお願いします。

○議事(4)「先進事例紹介」

【事務局】

議事(4)「先進事例紹介」について説明いたしますので、資料の6と記載された資料をお願いいたします。資料では、先ほどの九州内のアリーナとは別に、事業手法や資金調達面で、特徴のある施設の紹介をさせていただきます。

1 ページをお願いいたします。

愛知県の IG アリーナについてご説明いたします。上段左側に施設の概要、右側に事業主体やスキームなどの情報、下段は、施設のコンセプトや資金調達等を記載しております。事業主体は愛知県で、事業手法は、整備・運営を一括発注する、民設民営の PFI 事業となりますが、IG アリーナに関しましては、アリーナ整備としては、初の BT コンセプションという方式になり、維持管理・運営については、独立採算型となり、自治体の負担はなく、コンセプションの部分となります。運営権を民間事業者に設定することによる対価の収入によって、整備費についても、自治体の負担を抑えられた例となります。

また、施設の運営に関しましても、運営権を設定することで、事業運営や経営における民間事業者の裁量を拡大し、民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とするものであります。

2 ページをお願いいたします。

大阪府のパナソニックスタジアム吹田です。こちらは J リーグのガンバ大阪というチームのホームスタジアムですが、事業主体は任意団体となり、事業手法は負担付寄付となっております。こちらは、任意団体により集められた寄付金及び助成金によりスタジアムが建設された、日本初のビジネスモデルとなった手法であり、建設後の施設を自治体に寄贈されているため、整備における自治体の負担はありません。

負担付寄付については、寄付を行う民間事業者が施設の管理・運営を実施することを寄付の条件とするものでございます。

3 ページをお願いいたします。

群馬県のオープンハウスアリーナ太田です。事業主体は太田市で、事業手法は公設民営となり、太田市による整備、指定管理者制度における民間事業者による維持管理運営となっております。特徴としては、資金調達の面でございます、太田市をホームとしている B リーグチームの群馬クレインサンダーズのオーナー企業である株式会社オープンハウスの寄付金が、整備費に充てられております。企業版ふるさと納税により、整備費の半分以上となる約 44 億円が寄付されております。

議事(4)に関する説明は以上となります。

【柿本委員長】

ありがとうございました。ただいまご説明いただきました先進事例の紹介について、ご質問ございますか。

では私から。1 ページ目にあった愛知県の IG アリーナは、所有権は愛知県にあるのですか。

【事務局】

はい。所有権は愛知県の方です。

【柿本委員長】

所有権は愛知県。BT だから設計はこの会社がやっているんですか。

【事務局】

そうですね。はい。

【柿本委員長】

そこでデザインまでやって、建設してトランスファーしてってということですかね。

【事務局】

はい。

【柿本委員長】

誰かご質問ございますか。

【宮尾委員】

よろしいですか。今の説明にありました3か所にしても、あるいは佐賀、長崎にしても、ホームチームといいますか、核になるものがあるものがあって成り立っていると思います。ですから、ハコを作ればだれか来るという話ではちょっと全然違うので。

これから検討すると思うんですけども、それを前提とするのかしないのかでは、ただの市立体育館になる。今日は第1回ですからまだなんとも言えないところですけれども、核となるものを想定するかしないかで全然規模も違うような気が

します。今後情報があれば、これから進める中でそれらを議論するのかと思います。

**【事務局】**

宮尾委員がおっしゃった通り、建設後の運営するにあたって、どう稼働率を上げていくかが、当然大事になってくるかと思えます。その前提となるコマをどうやって埋めるかということに関しましては、今、市場調査の方をにかけておりますので、委員からご意見がありましたように、そういったものを次回検討会議の中で材料をお示しできるようなというふうには考えております。ありがとうございます。

**【福島副市長】**

よろしいですか。今日説明がございましたけど、先日の県のあり方検討会の中でも、ヴォルターズを持ってます桜十字の方からは、八代市との連携ということも当然念頭においてやられてますので、ライセンスが取れるようにということを意識しての5,000人ではあります。

**【柿本委員】**

けっこう急がないといけませんね。2030年(ヴォルターズの新B1リーグ参入想定時期)という。その前に完成させないといけませんのか。2030年を目指すとなると。

**【事務局】**

細かく申しますとすでに契約をしているとか、いろんな条件がございまして、すでに建っているということが前提ではなく、細かい契約しているとか、建設中であるとか、そういったものでもOKとレギュレーションはなっているようでございます。

**【柿本委員長】**

他に何かご質問ございますか。

**【塚崎委員】**

よろしいですか。ここでいろいろ事例があって調達方法とか事業スキーム等がありますけれども、運用するにしても運営後うまくいかないと、結果的には持続可能性がないという話になるかと思いますが、他施設の運営状況の開示といったところは今調査されているのですか。

**【事務局】**

はい、ありがとうございます。例えば、SAGAアリーナさんなど、すでに収支の方をホームページあたりで公表されているところもございます。そこに関しては、次回検討会議の中で、資料としてお出しできればと思っております。

**【塚崎委員】**

開示されているものもあるのですか。

【事務局】

そうですね。基本的には開示されているところが多いのではないかと考えております。そこはある程度数をですね。こちらで集めた上で資料として、提出をさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

【柿本委員長】

ほかございませんか。よろしいでしょうか。はい、それでは先進事例の紹介については終了させていただきます。

○意見交換

【柿本委員長】

次第(6)意見交換ということでございまして、ここでは全般について委員の皆さんからご意見をいただきたいということで、どんなことでも結構です。皆さんの関心のあることでよろしいので、広くご意見を聞かせていただきます。

それでは、加来委員からお願いします。

【加来委員】

はい、そうですね。例えば、ハピネス長崎は、ちゃんとしたツアーものが入っていません。なぜかという、キャパが足りないからです。SAGA アリーナに、ユミンさんと B'z さんが来てくれたのは、自社で買い取ったから決まったんですね。どうしても行政サイドはリスクを取っていただけない。予算はいただけるかもしれないけど、リスクを飲まない、飲んでいただけないことが多いので、そこが大きな課題だと思います。

だから、SAGA アリーナができるときは、年に1~2本興業が出来たらいいんじゃないですか、というくらいしか5年前のアドバイザーの頃はお話ししていません。よく、東京の方でもアリーナは儲かるというお話が飛び交ってるんですけど、都内や7大都市は儲かってます。でも、地方は全く儲からないので、エンターテインメントで市民を喜ばせるという考え方をしたほうがいいと思います。だから、低コストのアリーナやいろんなアレンジできるようなアリーナが私は望ましいのかなと思います。以上です。

【熊本委員】

そうですね、今日の時点であまり具体的なものを持ち合わせてはないんですが、皆さまのお話を伺いながら、いかに埋めるかだったりとか、どういう目的で施設を作るのかみたいなのところを、最初にしなければいけないことかなと考えております。

先ほど加来さんのお話を聞いて、いわゆる地方でコンサートや興行をうつ時の難しさみたいなものを改めて知ったわけなんですけど、私の息子が先日も四国のどこかのチケットが当たって、わざわざ飛行機を使って見に行くということがありました。そういうニーズもあると聞いていますので、その辺と地方での興行の難しさのバランスみたいなものや次回お示しいただけるであろう市場ニーズみたいなものも踏まえて考えたいと、今日のところは思ったところです。

### 【田嶋委員】

先ほど言いましたように、県庁で私も少し検討してきたのですが、やはりその機能をどうするか、やはりなるだけ多機能で柔軟に対応できるものが望ましいんだらうと思います。そういう中で、今回は大規模集客施設というのが1つの大きなテーマだと思いますので、市の施設というよりは、やはり県南、あるいは南九州の拠点となり得るような、拠点性を追求することは必要かなと思います。そういう中で、負担についても、例えば公益的な視点から県が参画する、あるいはその商業ベースのところは民間が参画するということが一つ一つ担保していければということです。

利用についても、まずヴォルターズが起点です。最初は八代に拠点を構えることについて非常にヴォルターズは否定的で、八代にはお客さん来ないんじゃないか、というマイナス思考の中で熊本で拠点を作ろうということで進められてきました。が、現在は、まずは八代でという方向に舵を切られてると思ってます。

また、コンサートについては、大きなものをいくつ想定するかなどなかなか難しいだらうと思います。公設民設にしようが、やはり公的負担は必ず生じるとは思いますし、黒字になるっていうのは八代で整備する時にはおそらくありえないとは思っています。ただ、やはり市民の皆さんが公的負担をしてもこういう施設を作りたいというものについては、しっかりとした市民の皆さんとの共通意識をもつことが必要で、有識者会議の議論の中でもいい機能を羅列して、ある意味で夢を見せるようなことはせずに、現実的な議論をしっかりした方がいいなと思います。

### 【塚崎委員】

10月にチケットが当たったということで私も10年かぶりに横浜アリーナのコンサートに行きましたが、ものすごい集客のできる場所ですけども、ああいうものがイメージとして八代でやれたらと思いました。

しかし、加来さんのお話を聞くと、そういうのがなかなか5,000人程度の規模では難しいのかというようなこと、先ほどから出てきておりますとおり、多機能化でもコンサートとヴォルターズだけではなかなか難しいというのが今日のところの感想でございます。今後、市場調査や運営実績などのデータを見ながら検討していきたいと思います。

### 【三浦委員】

ありがとうございます。また、2回目以降に色々なデータが出てくるとは思いますので、それを見ながら自分が分かる範囲で意見を述べさせていただければなと思います。

新八代駅というのは、熊本から居眠りができないくらい近いです。また、当社でいうと、筑後船小屋にホークスの2軍のグラウンドがありですけど、そこ一緒で、在来線も使える駅というところは強烈にアドバンテージがあります。在来線が使えて新幹線が使えるっていうのはものすごい利点なので、素晴らしい立地の中にあるっていうことは、もうお気づきだと思いますけど、私から見るとものすごい力がある場所です。新幹線はやっぱり高いので、数百円でも安くという方が多いですから、やはり在来線で来られる駅で1時間かからないというのは素晴らしいんですよ。

ね。キャパも豊肥本線より圧倒的に鹿児島本線の方がありますし、いざとなれば新幹線も使えるということで、土地の利便性に対する自負というか、自信をすごく持たれた方が良いと私は思っています。

それだけ利便性が高い場所なので、市民アンケートが気になっていて、市民っていうのは八代市の方と思いますが、おそらく呼ぶのは八代市の方ではない方が多いんじゃないかと考えると、いろんな行政区分で難しいかもしれませんが、やはり県内など少し広い範囲で声を聞かれた方が間違いがないのではという気がします。市民の方が使うのは間違いありませんけど、実は熊本県内の方を呼ぼうとされているのかなと私は思っています。

いずれにしろ、新八代はとても大事な拠点なので、今後の会議の中で色々なご意見をいただきたいですし、私も言いたいと思います。

### 【宮尾委員】

先ほどからご意見が出ているように、あるべき姿を言うだけであつたら非常に楽な会議であつて、今後、色々なものが提案されていき、その中で咀嚼していくのかなと私は思っております。やはり、大都市圏とは違い、採算的にはかなり厳しいものになるだろうということを考えれば、そもそも、誰のための何のための施設なのかというのを忘れてはいけないのかなと思います。もちろん、大規模集客施設でたくさん人が来て、八代市が潤うという構図なんだろうと思いますが、新幹線客もやはり市民の利用というのも忘れちゃいけないなど。そうじゃないとコンサートがじゃんじゃん来るわけではありませんし、そういうことを考えていただきたいというのと、今日ちょっと安心したのは、単純にアリーナの話だけではなくて、ホールもお示しされているところです。もちろん、アリーナでの興行というのはありますけれども、それとは別にホールというのにも必要だと思っています。先ほど資料で県内のいくつかの設備情報も紹介いただきましたけども、古いホールばかりで機能していないものもたくさんあります。建て替えの時期がきているというのがありますが、やはり八代には、それなりのホールが欲しいというのが私の考えです。ちなみに、熊本城ホールができたときに、県立劇場は広げるのかという質問があつたが、熊本城ホールと県立劇場とはホールが違い、熊本城ホールはコンベンションホールなので、2,300席のホールで採算的にはものすごく良いんです。

たとえば、クラシックのコンサートは県立劇場からは全然減っておらず、熊本城ホールができる前に10%だけ利用していた学会やコンベンションの分が抜けて、専門ホールという形でクラシックや演劇がそれぞれで使えるようになりました。

ですから、ホールにしても作り方としては色々ありまして、もちろんできるだけ多目的に使えるようにすればコンサートもできないことはないのですが、このホール自体を誰が使うのかって話からしないといけないと思います。

アリーナはアリーナで使い方はありますので、これからの議論の中で、3つの施設についてブラッシュアップ、もちろん、ニューアリーナというのが一番大きなテーマになるのだと思いますので、これから皆さまと検討していきたいと考えています。

【柿本委員長】

はい、ありがとうございました。最後に皆さまのお話を聞いて、私の方から。

最初に加来委員が言われたリスクをどうやってとっていか、これは重要な話で、運用していくとかなりリスクがあって、民間も最初からそんなリスク取ってくれることはないので、行政側がどれだけ覚悟を持ってリスクを取れるかという点。あとはコンテンツの問題で、コンテンツを充実させないと、なかなか集客は難しい。塚崎委員も言われたように、コンテンツがいいと、距離と関係なく、どこまでもお客さんを集客できます。

ホークスの試合をよく見に行くんですけど、近くになれば試合がある場所に行きますし、コンサートでも熊本でなければ福岡まで行きますし、そういうコンテンツは揃えられるんです。距離を消せるような。その辺のところはかなりの営業努力がいりますし、これを民間がするのか行政がするのかわかりませんが、覚悟がないと、どうしても背後圏の人口が少ないので、常に集客しようとなると、かなり商圈を広くしないといけない。そうすると、コンテンツの問題になる。その辺のところを考えていくのと、それが使えるようにすること。ただし、先ほど言われましたように、維持管理費が多くかかってしまうようなものを作ってしまうと大変なことになってしまいます。その兼ね合いを考えていく必要があると思います。

それと、土木関連で一番気になるのは道路状況などアクセスです。熊本の運動公園とかでラグビーワールドカップやコンサートがあるときは毎回渋滞にはまります。アクセスをきちんと整備してあげないと 5,000 人集めて捌こうと思ったら今の道路状況ではかなり厳しいところありますので、この辺のところも改善していくと魅力的な施設になるかと思えます。

また、市民の方にとっても憩いの場となるので、普段使いができるような仕組みも考えてください。

そのほか、皆さんの話を聞いて、ご意見等はございませんか。

【田嶋委員】

ひとつ検討をお願いしたのですが、長崎と佐賀に新しいスポーツ関連施設ができて、今一番最新の施設の整備と今後の利活用の参考になると思えます。もし、日程の調整がつけば、皆さんで確認して、共有の知識を持って議論もできると思えますので、計画していただければと思います。よろしくお願いします。

【加来委員】

もしよろしければ、12月22日に自社主催のコンサートを SAGA アリーナで開催していますので、よろしければご招待します。ツアーものではなく自社の企画制作で、いかにお金をかけずに地元で作るかというテーマでやっており、中身は素晴らしいです。広瀬香美さん・AI さん・平原綾香さん、という有名アーティストをシンプルにどう演じていくかというものを具体的に作ってみました。完全に地方ならではで、どういうコンサートができるかなということで作った自社オリジナルのコンサートですので、興味がある方はご招待いたします。

【柿本委員長】

時間が許される方は、ぜひ行かれてください。ほかにごいませんか。それでは、予定されておりました議題の方すべて終了いたします。ご議論ありがとうございました。これ以降の進行につきましては事務局にお返しします。

○閉会

【事務局】

柿本委員長ありがとうございました。最後に福島副市長からお礼のご挨拶を申し上げます。

【福島副市長】

委員の皆さまには、長時間にわたりましてご議論いただきまして本当にありがとうございました。

様々なご意見伺わせていただきました。本来であれば、こちらから具体的な規模、機能を提示した中での開催であれば、皆さんご意見が出しやすかったことと思いますけど、まだ我々もこれから先、検討しながらですね、会をつめることにより、具体的な中身を議論していただけるように努力したいと思います。

特に、三浦支社長さんから勇気のある、自負をもってというご意見がありました。八代市が昨年にランドデザインを打ち出してから、以前にも増して鉄道の重要性を皆さんよく言ってくれてます。やっぱり駅に近いのが何よりだっているのは。

先ほど周辺整備をどうするのかというご意見が委員長からもありましたが、工業団地が北の方にできまして、おそらく一つ上の千丁駅が使われるようになると思います。千丁駅から歩いてもアリーナまで 1.4km くらいしかないんですよ。だから、千丁駅を降りてそこからいろんなことを楽しみながらアリーナに行くような構想なんかも考えたいなと。あの辺一帯をこれからの八代の発展の大きな拠点にしたいなと思っています。我々再三言ってますけど、八代のことだけじゃなくて、まさに県南地域全体の発展、南九州の発展という観点で考えています。八代に来てもらった方はどうぞ、他のところに遊びに行ってください。そういう広い気持ちでおりますので、ぜひその点もご理解いただきたいと思います。そういうことを掲げる中で、田嶋会長からありましたけど、県なり民間からの参画を募っていきたいと思っております。

一方で、やはり普段使いといいますか、市民向けと言うところもご指摘いただきました。厚生会館という所があって、以前から八代の文化の拠点ということで、矢沢永吉さんとか浜田省吾さんも来られてましたが、そこをもう廃止するというので、今まで市民の方の愛着がある施設の機能を移転する、そういったことを打ち出していますので、その点も忘れないようにやりたいと思います。

あとはコストですね。今日の資料でもお感じいただいたと思うんですけど、やっぱり、かなり建設費が高いのかなと。安くできてるものありますので、そっちもしっかり研究して、できるだけ負担が少ないような方法を考えていきたいと思っておりますので、また、その点についてもまたご意見伺いたいと思います。

今回は市場調査を報告いたしますので、その辺を踏まえてご意見伺いたいと思います。SAGA アリーナがちょっと出ましたけど、SAGA アリーナと同じ規模であれば、アクセスの面でこっちの方を選択するというご意見もいただいたりするのですが。

**【加来委員】**

それは、実はあります。福岡か佐賀、福岡が使えなかったときに佐賀を使えばいいんじゃないですかというところで、今、鹿児島のアリーナが使えない、宮崎もない、というところと、実は熊本のグランメッセも非常に使いづらいということになっている。そういった意味では、1 つちゃんとしたアリーナがあると、大きいのがあれば選択されるケースが、先方さんで判断して会場費を払ってくれるというメリットもあります。

**【福島副市長】**

ありがとうございます。

はい、そういうことで、今後は様々な議論をさせていただきたいと思っておりますので、来年度まで長丁場となりますけれども、何卒おつきあいをよろしくお願いしたいと思います。本日は誠にありがとうございました。お疲れさまでした。

**【事務局】**

副市長、ありがとうございました。

なお、今回の会議の開催につきましては、3月を予定いたしております。日程につきましては別途調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。